

政策評価調書（個別票1）

【政策ごとの予算額等】

政策名		北米地域外交		評価方式		総合	番号	②
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度概算要求額		
予算の 状況	当初予算（千円）	231,188	341,993	292,519	297,427	274,805		
	補正予算（千円）	0	0	26,730	0			
	繰越し等（千円）	0	0	135,270				
	計（千円）	231,188	341,993	454,519				
執行額（千円）		164,061	296,552	429,083				
政策評価結果の概算要求への反映状況		<p>平成24年度は日・北米諸国が直面する政治面での共通の諸課題についての両国政府間の緊密な連携を一層強化していくという施策目標の達成に向けて相当な進展があった。米国については、日米の首脳・外相を始めとする様々なレベルでの意見交換を累次の機会に実施し、二国間の課題のみならず、朝鮮半島情勢や中国との関係などのアジア太平洋地域情勢、そしてアフガニスタン支援、シリアの情勢への対応やイランの核問題といったグローバルな日米両国の共通の諸課題について、両政府間で緊密に連携してきており、また、安全保障、経済、文化・人的交流を中心に、日米同盟を一層強化するため、その方策について議論を深めている。カナダについては、首脳間で政治分野において協力を深めたほか、民間有識者を含む重層的な対話・交流を推進した。引き続き、日米・日加両国が直面する政治面での共通の諸課題についての両国政府間の緊密な連携、及び民間有識者を含む様々なレベルでの日米・日加間での対話・交流を一層強化していくため、必要な予算要求を行った。（北米一）</p> <p>政策評価のとおり、現在まで築いてきた日米及び日加間の友好関係を一層深化・発展させるため、今後も引き続き日米及び日加経済関係の更なる進化・活性化を推進する必要がある。米国については、TPP協定交渉と並行して行われる、日米間における交渉を行う等、米国とともに地域における高いレベルの貿易・投資ルールを主導していくことが重要であり、今後も引き続き、アジア太平洋地域の経済統合をはじめ世界の経済的課題に関する協力に向けた取組を強化していく。また、カナダについては、EPA交渉等の取組を通じ、二国間関係を更に活性化及び深化させることが重要であり、今後も日加EPA交渉の進展に向けた取組を含め個別の協力を更に強化していくため、必要な予算要求を行った。（北米二）</p> <p>平成24年度においては米国との安全保障分野での協力が一層推進され、施策の目標達成に向けて進展があった。引き続き、日米安全保障条約に基づく日米安全保障体制の信頼性を一層高めつつ、在日米軍の活動が施設・区域周辺の住民に与える負担を軽減し、在日米軍の安定的な駐留を確保していく施策を継続的に検討・実施するため、平成26年度においても必要な予算要求を行った。（北米保・北米地）</p>						

政策評価調書（個別票2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	北米地域外交					番号	②			(千円)
	予 算 科 目							予 算 額		
	整理番号	会計	組織／勘定	項	事項	25年度 当初予算額	26年度 概算要求額			
対応表において●となっているもの	●	1	一般	外務本省	地域別外交費	北米地域外交に必要な経費	271,261	258,068	△ 23,882	
	●	2	一般	在外公館	地域別外交費	北米地域外交に必要な経費	26,166	16,737	△ 124	
	●	3								
	●	4								
	小計						297,427	274,805	△ 24,006	
対応表において◆となっているもの	◆	1								
	◆	2								
	◆	3								
	◆	4								
	小計								の内数	の内数
対応表において○となっているもの	○	1					<	>	<	>
	○	2					<	>	<	>
	○	3					<	>	<	>
	○	4					<	>	<	>
	小計								の内数	の内数
対応表において◇となっているもの	◇	1					<	>	<	>
	◇	2					<	>	<	>
	◇	3					<	>	<	>
	◇	4					<	>	<	>
	小計								の内数	の内数
合計						297,427	274,805	△ 24,006		

政策評価調書（個別票3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名	北米地域外交				番号	②	(千円)
事務事業名	整理番号		予算額			政策評価結果の反映による見直し額(削減額)	政策評価結果の概算要求への反映内容
			25年度当初予算額	26年度概算要求額	増減		
日加安保シンポジウム関係費	●	1	4,672	3,447	△ 1,225	△ 1,225	政策評価結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費縮減を図り、予算の減額要求を行った。
硫黄島日米合同慰霊顕彰式に出席する政府・国会関係者等の渡島経費	●	1	17,005	14,475	△ 2,530	△ 2,530	政策評価結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費縮減を図り、予算の減額要求を行った。
日本人若手英語教員米国派遣事業	●	1	159,947	149,946	△ 10,001	△ 10,001	政策評価結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費縮減を図り、予算の減額要求を行った。
安全保障に関する調査研究・連絡調整等関係経費	●	1	12,324	7,332	△ 4,992	△ 5,192	政策評価結果、執行状況等を踏まえ、委託調査及び研究会を皆減とし予算の減額要求を行った。
沖縄事務所運営経費	●	1	38,790	38,558	△ 232	△ 4,934	政策評価結果、執行状況等を踏まえ、映像資料作成を皆減としたことや、消耗品及びタクシー代等を削減したことにより予算額の減額要求を行った。
在加日系人リーダー招へいプログラムに関連する経費	●	2	188	158	△ 30	△ 30	政策評価結果を踏まえ、効率性の見直し（単価の見直し等）により経費縮減を図り、予算の減額要求を行った。
米軍との連携強化費	●	2	330	236	△ 94	△ 94	政策評価結果、執行状況等を踏まえ、出張回数の見直しにより予算の減額要求を行った。
合計			233,256	214,152	△ 19,104	△ 24,006	